

みんな育てる みんなが育つ



# 青南だより

令和5年10月号

港区立青南幼稚園  
園長 新山 裕之

## <目の前で生長を見てきたものを味わう>

ここ数年、園庭の築山のフェンスにブドウがよく実るようになりました。初夏の頃から小さな実が付き始め、「まだ小さくて青いから、紫色になったら食べようね」と、袋掛けもしてみんながずっと楽しみにしていました。9月になって色付き始め、今年はちょっと早めでしたが、収穫をして保護者も含めてみんなで味わいました。一足先に収穫して味見をした年長児は、いろいろな色や形のブドウを見て描くことも経験しました。日々楽しみに見て、味わった物だからこそその表現です。

## <直接体験の感動が表現の源泉となる>

年少児や年中児はブドウを見たり食べたりした喜びをそれぞれの形で製作しています。身近な自然との関わりの中で、心が揺れ動くことが表現につながります。描きたい、作りたいという気持ちが生まれる環境を整えて、何日か掛けて自分のタイミングで描き作っていった作品です。10月中旬には作品展を開催します。未就園児の方には10月18日の幼稚園説明会の際に、一部を見ていただくことができますと思います。

## <ようこそ青南幼稚園へ>

先日の幼稚園説明会には、入園を考えている未就園児保護者の方が大勢参加してくださいました。幼稚園では、幼児期にふさわしい遊びや生活を教師と共に創り出し、展開していく中で、子どもたち一人ひとりを丁寧に育てていることや青南幼稚園の魅力などをお伝えしました。説明の後、園庭や保育室などをご案内しながら、在園児保護者代表で参加していただいた年中組PTA役員さんも保護者目線の質問に答えてくださいました。11月10日には募集要項・申込書の配布が始まります。大勢の仲間が増えることを願っています。

### 青南の 二十四節気

・・・神無月(かんなづき)・・・

寒露(8日)・・・空が澄み、柿の実が色付き始めます・・・

霜降(24日)・・・キンモクセイが香っているでしょうか・・・

今年もキラキラドアの階段下に赤、裏庭のビワの木の下に白いヒガンバナがきれいに咲きました。ほぼ例年通り、9月初旬に花芽が顔を出しました。この花は15年以上前の先生たちが球根を植えてくれたものだそうです。昨年の初夏に一部の球根をわくわく池の近くに移植したものは、この秋ようやく開花しました。また、園庭のザクロと裏庭の柿は今年も豊かな実りが期待できそうです。春は芽のもの、夏は葉のもの、秋は実のもの、冬は根のもの。これ全て自然からの贈り物です。



ちょっと早いけれどブドウを収穫しました



年長児が描く様子をじっと見つめる年中児



年中児はステープラーでブドウを量産!



年少児はブドウの粒を糊で貼りました



今年もきれいに咲いた赤と白のヒガンバナ